

安全未来特定認定再生医療等委員会

議事録要旨

第 195 回 4 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グラントール溝の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 白井 由美子

安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

第195回 第4部

2023年2月9日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

【議題】

獨協医科大学病院

定期報告「多血小板血漿（PRP: Platelet-Rich Plasma）を用いた顎骨・歯槽骨欠損に対する組織修復」（第3種）

「多血小板フィブリンPRF (Platelet-Rich Fibrin)を用いた顎骨・歯槽骨欠損に対する組織修復」（第3種）

第1 審議対象及び審議出席者

1 日時場所

日 時：2023年2月7日（火曜日）第4部 18:45～19:05

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

2 出席者

出席者：佐藤委員（医学・医療1）、寺尾委員（医学・医療1）、
高橋委員（医学・医療2）、角田委員（医学・医療2）、
菅原委員（法律・生命倫理）、山下委員（医学・医療2）、
中村委員（一般）

※佐藤委員、高橋委員はZoomにて参加

申請者：管理者 麻生 好正

陪席者：（事務局）坂口 雄治、白井 由美子

3 技術専門員 佐藤 淳一 先生

4 配付資料

資料受領日時 2023年1月4日

（本審査資料）

・再生医療等提供状況定期報告書（様式第三）

- ・年間 教育・研修記録文書
- ・治療件数が0となった理由書

(事前配布資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告書 (様式第三)
- ・年間 教育・研修記録文書
- ・治療件数が0となった理由書

(会議資料)

- ・再生医療等提供状況定期報告書 (様式第三)
- ・年間 教育・研修記録文書
- ・治療件数が0となった理由書

第2 審議進行の確認

1 開催基準の充足

再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十四条の規定する開催要件は次のとおり。

成立要件：

- 1 5名以上の委員が出席していること。
- 2 男性及び女性の委員がそれぞれ1名以上出席していること。
- 3 次に掲げる者がそれぞれ1名以上出席していること。
 - イ. 再生医療等について、十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
 - ロ. 医師または歯科医師
 - ハ. 医療又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家、または生命倫理に関する識見を有する者
- 4 出席者の中に、審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関（当該医療機関と密接な関係を有する者を含む。）と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること。
- 5 一般社団法人再生医療安全未来委員会の設置者と利害関係を有しない委員が2名以上含まれていること。

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、全てにおいて条件を満たしていることを各委員に宣言した。

第3 審議

1 質疑

- | | |
|----|--|
| 山下 | 院外の研修は口腔外科学会のみ参加ですが、それで適切と判断してよいのでしょうか。口腔外科学会で再生医療の情報も得られるのでしょうか |
| 角田 | 口腔外科学会でも再生医療について取り上げたかもしれませんが、詳細はわ |

山下	かりません
菅原	教育研修の記録には、再生医療の内容が書かれていませんでしたので、心配になりました。再生医療の学会等にも参加してほしいと思います 専門学会として再生医療学会にも是非参加してください

2 判断

審査の結果、報告内容が再生医療等の安全性の確保等に関する法律に適合しており、当該再生医療提供計画の継続に問題はないと全員一致で認められた。ただし、教育・研修は再生医療関連の学会にも参加することが望ましい。

第4 審議結果

定期報告は適切である。

以上